

KIKONAI 町民のみなさんと歩む 木古内町 議会だより

vol. 140

平成29年11月1日発行

- 発行／木古内町議会
- 編集／議会だより編集特別委員会
- 〒049-0422北海道上磯郡木古内町字本町218
- TEL. 01392-2-3131 FAX. 2-3622

<http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm>

木古内町議会

検索 

収穫の秋 ~永盛保育園いも堀り体験~

contents

学童保育駐車場用地購入

P2

町政を問う 4議員から関連質問

P5

町税収納率向上

P10

決算質疑ピックアップ

P11

人口減少対策「KPI」

P13

町民のインタビュー

P16

9月定例会

可決された 主な議決事項

議案第1号
平成29年度木古内町一般会計補正予算（第4号）

議案第2号
平成29年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議案第3号
平成29年度木古内町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

議案第4号
平成29年度木古内町介護老人保健施設事業会計補正予算（第2号）

議案第5号
平成29年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）

議案第6号
平成29年度木古内町下水道事業特別会計補正予算（第1号）

議案第7号
木古内町公営住宅の設置、整備及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第8号
北海道市町村職員退職手当組合規約の一部を変更する協議について

議案第9号
北海道市町村議會議員公務災害補償等組合規約の一部を変更する協議について

議案第10号
北海道市町村総合事務組合規約の一部を変更する協議について

議案第11号
町道路線の認定について

報告第1号
健全化判断比率及び資金不足比率について

承認第1号
専決処分の承認を求めるについて

質問第1号
人権擁護委員候補者の推薦について

学童保育駐車場用地購入

全員賛成
可決

児童の安全確保のため隣接地を取得

平成29年9月定例会

は、9月14日から22日まで開催され、14日は平成29年度一般会計のほか5会計の補正予算、

条例等の改正・協議の議案4件、報告1件、承認1件、諮問1件、

同意案2件が可決されました。主な補正内容

は、学童保育事業に係る駐車場用地、企業誘致に係る用地の購入費用のほか、渡島西部広域事務組合負担金、橋梁長寿命化事業の確定に伴う工事請負費の減

額などです。

なお、平成28年度各会計決算認定は、特別委員会へ付託されました。（詳細10ページ）

また、一般質問では、新井田議員、鈴木議員、相澤議員、竹田議員の4名から質問が出され、活発な議論がされました。

最終日22日には、台風被害状況の行政報告の追加、閉会中の事務調査の発議案1件、意見書案6件を可決し閉会しました。

行政報告

9月17日～18日にかけて北海道に上陸した台風第18号の被害状況の報告（9月22日現在）がされました。

一般住宅や物置等の屋根の飛散6件、牧草

地への土砂流入などで約380万円、鮭ふ化場の損壊で約30万円の被害、人的被害についてはない旨の報告を受けました。避難された住民は37名、出動者は役場47名、消防署員21名。

被災、人的被害につい

てはない旨の報告を受けました。避難された住民は37名、出動者は役場47名、消防署員21名。



学童保育所に隣接した駐車場

は、学童保育事業に係る駐車場用地、企業誘致に係る用地の購入費用のほか、渡島西部広域事務組合負担金、橋梁長寿命化事業の確定に伴う工事請負費の減

最終日22日には、台風被害状況の行政報告の追加、閉会中の事務調査の発議案1件、意見書案6件を可決し閉会しました。



氾濫した木古内川上流



木古内川の増水により避難勧告が出され、自主避難場所として11箇所の避難所が開設された



屋根の飛散を防ぐため懸命な対応した消防署員（釜谷地区）

質疑

竹田議員 農業被害は、

水稻・トマトの倒伏、雑木土砂の流入やビニールハウスなどの損壊があり、現時点の被害額は約380万円となっていますが、その内訳を説明願います。

木村産業経済課長 現時点での積算になりますが、被害額の大部分が採草放牧地への土砂の流入によるものです。その草地の更新費用が350万円程度となっています。

竹田議員 避難所の開設は、17日20時に6箇所、翌日には全11箇所を開設しましたが、避難の考え方、経過について説明願います。

大野副町長 17日は警報が出される前に台風の上陸が予測できましたので、夜を不安で過ごす住民のかたなどの自主避難として有効であると判断し、避難所6箇所を開設しました。その後、翌日朝4時に

警戒警報が出され、木古内川の水位も警戒水位を超えたので、全11箇所の避難所を開設しています。なお、今日は避難勧告のかたちを取りましたので、自主避難としておりま

す。警戒警報が出され、木古内川の水位も警戒水位を超えたので、全11箇所の避難所を開設しています。なお、今日は避難勧告のかたちを取りましたので、自主避難としておりま

す。

補正予算

主な補正内容は次のとおりです。

総合行政システム等改修委託料336万3千円、企業誘致用地購入費580万円、学童保育駐車場用地購入費650万円、全道乳牛共進会参加報償費3万円、木古内小学校ブランズバンド大会参加報償費26万3千円などの追加補正、渡島檜山滞納整理機構負担金116万円、渡島西部広域事務組合負担金563万3千円、橋梁長寿命化事業1572万8千円

平成29年度より開始された学童保育事業では、児童の迎えの際、保護者に直接玄関まで来ていただいており、施設専用の駐車場があります。このため、児童の安全確保ため、隣接地に駐車場用地が購入されます。

吉田町民課長 ラインなどを引いていなく、止め方も自由になると思いますが、その対応をどのように考えていましたか。

新井田議員 駐車ライ

相澤議員 駐車場の購入予定用地は、砂利が敷いてあり舗装されていませんが、舗装する考えはありますか。

吉田町民課長 購入予定地は、砂利がしつかり転圧された状態になつておらず、雑草等の管理を行えば利用に支障がないと判断していました。

全日本中学校バレー
ボーリ選手権大会に
助成金

22日から宮崎県で開催された全日本中学校バレーボール選手権大会に出場に伴う報償費25万5千円を追加補正しました。なお、開催

日程により専決処分
（※1）を行い、定例会にて承認されました。

介護老人保健施設事業会計

老健施設の経営統合
に伴う内部改修

介護老人保健施設
「いさりび」と特別養護老人ホーム「木古内恵心園」との経営統合に伴い多目的室が個浴に改修されます。

固定資産評価委員会 委員に蟻崎光憲氏

木古内町固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、蟻崎光憲さんを任命することについて提案があり、満場一致で同意しました。

議会閉会中の所管事務調査項目の承認

議会閉会中の総務・経済常任委員会所管事務調査項目を承認しました。

4

同意案

教育委員会委員に仁禮秀嗣氏

木古内町教育委員会委員の任期満了に伴い、仁禮秀嗣さんを任命することについて提案があり、満場一致で同意しました。

諮詢問

人権擁護委員候補者に佐藤裕史氏

人権擁護委員の候補者として、佐藤裕史さんを推薦したい旨の諮問があり、提案のとり答申することになりました。



かきざき
蟻崎
みつおり
光憲
さん (字新道)

4

【総務課】 財政收支計画の見直しについて 【建設水道課】 発注工事等の現地調査について 【水道事業会計及び下水道事業特別会計の上半期収支状況について】 【保健福祉課・病院事業】 老人保健施設「いさりび」と特別養護老人ホーム「恵心園」との経営統合について（継続）

課題について
・国民健康保険病院事業会計及び介護老人施設事業会計の上半期収支状況について
その他緊急を要する

「リロナイふれあい学園」のみなさんが議会を熱心に傍聴



9月定例会を傍聴されたリロナイふれあい学園のみなさん

「リロナイふれあい学園(高齢者大学)」の年間行事の一つに議会傍聴があり、9月定例会で18名のかたが傍聴されました。来年もよろしくお願いします。

議会の傍聴は、どなたでも氏名を記入するだけで傍聴ができます。町民のみなさまのたくさんの傍聴を心よりお待ちしております。

（※1）専決処分…議会が議決又は決定すべき事件について、町長が議会に代わってこれを処分することをいう。



一般質問

4名の議員が 町政を問う

一般質問は、定例議会（年4回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。



新井田昭男 議員

- 1 新電力会社破綻に伴う北海道電力（株）との再契約について

鈴木 慎也 議員

- 1 函館江差自動車道木古内IC開通前の様々な環境整備について

相澤 巧 議員

- 1 全公共施設の敷地内禁煙の実施について

竹田 努 議員

- 1 交通安全対策について



新井田 昭男 議員
niida akio

問 電力契約の考え方

答 安価で安定的に供給できる事業者を選定します —— 町長

新電力「日本ロジテック協同組合」の破綻の対応は

新聞紙上に掲載された北海道電力株の公正取引委員会警告問題で、破綻した新電力

会社「日本ロジテック協同組合」と契約した市町村や企業の中での北海道電力株と再契約

した自治体が479件に上ったことが判明し、北海道電力株と再契約

し割高な契約だつたのは18町村でした。

しかし、北海道電力株に説明を求める町は当町を含め3町で、場合によって返金請求も検討するとした町は1町のみでした。このことに対する当町の対応と今後の電力契約の考え方について、町長の見解を伺います。

大森町長 当町の高压電力施設は、産業会館など11施設あります。

今回の新聞報道では、新電力の再導入について検討し、産業会館など9施設を王子・伊藤忠エネ

新電力を導入した者が北海道電力株と再契約をする際に、割高な料金プランで契約させられる内容でした。従前、北海道電力株とは業務用ウイークエンド電力という料金プランで契約していましたが、再契約の際には、一般的な業務用電力で再契約しました。

当町では、公正取引委員会に問い合わせをしていますが、「会社が提示している契約種別の範囲を超えた内容であれば違法性があるが、契約種別の範囲内で著しく料金が増加する場合であつても違法性があるとは言えない」と見解が示されました。

なお、この北海道電力株との契約は、年で更新され、1年後には従前の業務用ウイークエンド電力で契約が可能となっています。

今後も電力契約については、安価で安定的に供給できる事業者を選定し、電気料金の低減に努めていきます。





鈴木 慎也 議員
suzuki shinnya

問 通学路に安全対策を

答 看板設置等を協議します —— 町長

**木古内ＩＣ開通前に
環境整備を**

な通学路看板等の設置について

大森町長 高波による
越波時には、道へ状況確認を行つており、引き続き景観に配慮した

質問6 みそぎ浜の信号機、横断歩道等さらなる環境整備の進捗状況について

議していきます。

高 規格道路開業を控え、今後、人の流れが大きく変わることから、が予想されることから、町のさらなる発展ためには早急な環境整備が必要です。

次の6点について町長の見解を伺います。

質問1 札苅、泉沢、

釜谷の駅舎及び駅前道路舗装等に環境整備について

大森町長 JRから

「道南いさりび鉄道」へ譲渡される前に整備、修繕等が行われており、今後も適切な維持管理をしていくと理解しています。舗装についても、「道南いさりび鉄道」へ必要性、手法などの協議を申し入れたいと思います。

質問2 登下校時の子

ども達の安全をさらに向上させるため、時間による車両制限や新た

質問3 年々増えてきている車中泊及び体験型観光資源としてのキャンプ場の新設について

質問4 木古内インター名の早期要望についての進捗状況について

大森町長

駅西側駐車場にはキャンピングカー5台分の駐車スペースの整備、道の駅には公益振興公社により2台の洗面台を追加しています。また、キヤンプ場の整備については、管内の状況を踏まえ、観光客のニーズを把握し、今年度策定する観光振興計画において協議検討します。

大森町長 名称の考え方として開発建設部では、道路の利便性を考慮し、所在地を簡潔でわかりやすく示す必要があることから、市町村名を基本として決定されます。今後、その内容を踏まえ開発建設部と協

質問5 木古内インター名の早期要望についての進捗状況について

大森町長 北海道新幹線開業により、来町者や歩行者も多く見受けられるようになります。みそぎ浜への横断

者も増えてきています。が、現時点では設置の要件を満たしているとは言えず、国でも信号機を減らしていく方針であることなどから、みそぎ浜への信号機設置は困難であると考えます。



平成31年度開通を目指す高規格道路（大平地区）



相澤 巧 議員
aizawa takumi

問 全公共施設を敷地内全面禁煙に

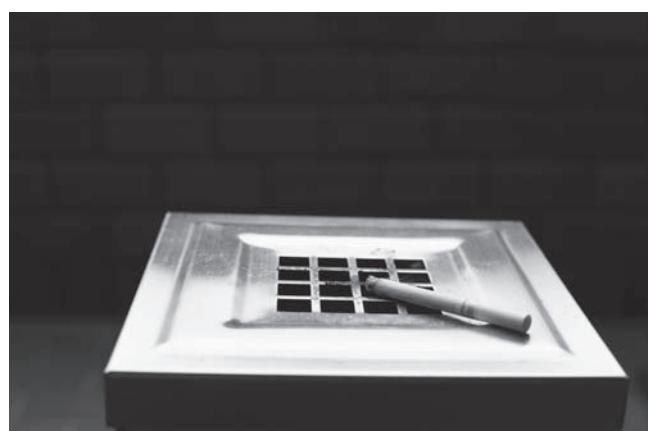
答 衛生委員会の方針を受け 検討します —— 町長

積極的に禁煙化の流れを

大森町長 厚生労働省では、受動喫煙防止対策に力を入れております。愛煙家の皆さんには、リラックス効果やコミュニケーションのツールとして、大切なものと承知しています。しかし、禁煙、受動喫煙防止については、時流れており、全公共施設の敷地内禁煙を行うべきと考えます。町長の見解を伺います。

喫煙や受動喫煙は、様々な病気の原因となり、青少年への影響もあるため、各公共施設で分煙や建物内禁煙、敷地内禁煙などの取り組みが行われています。当町でも国保病院をはじめ、小・中学校、健康管理センターは敷地内禁煙、中央公民館、役場では建物内禁煙の処置がとられています。

愛煙家の皆さんには、リラックス効果やコミュニケーションのツールとして、大切なものと承知しています。しかし、禁煙、受動喫煙防止については、時流れており、全公共施設の敷地内禁煙を行うべきと考えます。町長の見解を伺います。



受動喫煙防止対策により全国的に禁煙化が進んでいる喫煙者のマナーとモラルが重要です



産業会館のベランダにある喫煙所

定例会

一般質問

決算審査特別委員会

常任委員会

お知らせ



竹田 努 議員
takeda tutomu

問 高齢者の交通安全対策の強化を

答 交通事故死ゼロを伸ばせるよう努めていきます —— 町長

高齢者の交通安全対策について

交通安全対策は、
「福祉都市きこない」

高齢化率の高い町として、何らかの対策が必要だと思います。

次の2点について町長の見解を伺います。

質問1 高齢者に対する交通安全対策の実施について

大森町長 当町では交通安全推進委員会において、期別の交通安全運動、新入学児童へのランドセルカバーの寄贈、飲酒運転根絶に向けた啓発など、様々な活動を実施しています。高齢者の対策としては、夜光反射材の実演会を実施し、参加者には夜光反射材を配付しました。今後も対策強化を図るとともに、先日達成した交通事故死ゼロ1500日を伸ばしていくよう努めています。

質問2 交通安全啓発看板等の設置について

現在国道沿いに交通安全啓発看板が8箇所あります。他

町と比較しても多いものと認識しています。

今後も看板の状態を確

認し、適時設置者へ更新を求めるなど、交通安全の啓発に努めていきます。

再質問 夜光反射材のシールではなく、バストやジャンパー等の考えはないですか。

大森町長 同じ衣類を身につけなければならないことや夜光反射材の利便性を考慮し、衣類まで広げるという考えはありません。

再質問 予算委員会でも議論しましたが、地域から要望があれば交通安全啓発資材等を配付しますと回答されましたが、行政側から配付するような運動の展開が必要に思います。

大森町長 町内会によつては、交通量も少なく啓発する人手も少ない場合もあり、行政側から押しつけるかたちもできませんので、遠慮せずに町に要望をしてほしい旨を各町内会へ周知します。

これまで運転免許証を主

題があり、それだけ高齢化社会であると理解しています。高齢によつて運転時の瞬時の反応が遅くなることを考

えると大変必要なことだと思いますが、あくまでも自主的な判断となりますので、行政から強制的にできるものでは

ないと思います。



消防署前で実施した交通安全街頭啓発

平成28年度 決算審査 特別委員会

平成28年度全9会計の 決算を認定

9月14日の定例会では、平成28年度9会計の決算を議長と監査委員を除く全員で構成する決算審査特別委員会（新井田昭男委員長）を設置し、付託しました。

この特別委員会では、平成28年度一般会計予算のほか8会計を審査し、9月22日に所見を付して全会計を認定しました。

決算審査特別委員会 に付託された案件

認定第1号

平成28年度木古内町一般会計決算認定について

認定第2号

平成28年度木古内町国民健康保険特別会計決算認定について

認定第3号

平成28年度木古内町後期高齢者医療特別会計決算認定について

認定第4号

平成28年度木古内町国民健康保険病院事業会計決算認定について

認定第5号

平成28年度木古内町水道事業会計決算認定について

認定第6号

平成28年度木古内町介護老人保健施設事業会計決算認定について

認定第7号

平成28年度木古内町介護保険事業特別会計決算認定について

認定第8号

平成28年度木古内町介護サービス事業特別会計決算認定について

認定第9号

平成28年度下水道事業特別会計決算認定について



審査所見

町税収納率向上

昨年に引き続き過去5年で最高

平成28年度各会計決算の中で、一般会計については、実質収支2356千円の黒字となつた。その中で、町財政の自主財源である町税全体については、過去5年間の中でも一番高い収納率となり、昨年度の審査所見と同様に評

価に値するものである。今後も貴重な一般財源確保のため、さらなる収納率向上に引き続き努力願いたい。

また、狩猟免許等取得補助金については、予算計上されていない状況にあり、町民への周知は基より、課題である狩猟環境を整え成果向上を望むものである。

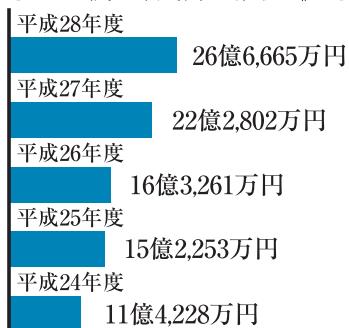
病院事業の介護老人

保健施設事業会計については、入所者の減により5695千円の赤字となつたが、平成30年4月に向け、特別養護老人ホーム「恵心園」との経営統合協議が進められており、高齢者の尊厳と生きがいを感じられるような施設として、統合後には安定した事業運営が図られることを期待する。

なお、各担当課においては、今決算審査特別委員会での議論を踏まえ、使命感を持ち課題解決に向け邁進することを強く要望する。

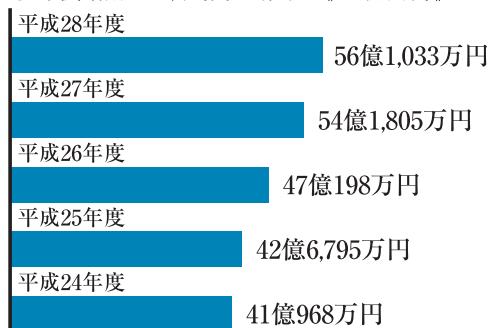
木古内町の基金と町債（過去5年） (貯金) (借入金)

●基金(貯金)残高の推移《一般会計》



※平成24年度の基金(貯金)は約11億4,228万円でしたが、4年後の28年度は約26億6,665万円となり、2倍以上となっています。

●町債(借入金)残高の推移《一般会計》



※平成28年度は新幹線関連整備事業が着々と進み町債(借入金)は、約56億1,033万円で、昨年度比で1億9,228万円の増となっています。

定例会
一般質問
決算審査特別委員会

常任委員会
お知らせ

ふるさと納税の今後の取り組みは？



新井田委員長 ふるさと納税の収入が昨年度より100万円程度落ちていますが、その要因と町としての今後の取り組みの考え方について伺います。

また、国より返礼品の見直しの指示がされたと思うのですが、これからはこの返礼品のほかに、町として何をPRしていくのかが必要と思われます。

回答 ふるさと納税の納税額を増やす策として、以前から指摘のある業務を完全委託にする方法があります。委託の問題点としては、委託料も発生するため、現在の納税額を数倍に増やす必要があります。今後、増加策と返礼品の見直しの両面から、再度協議を進めていきます。

防災無線が故障どうすれば？



平野委員 町民に配布されている防災戸別受信機の故障などは、どのように把握していますか？

また、防災戸別受信機の予算執行がないですが、新たな設置はないのですか？

回答 防災戸別受信機の故障は、連絡をいただければ修繕交換等を実施しています。広報等の周知は、最近実施していませんので町民への周知対応に努めています。

また、新規の防災戸別受信機については、転出時の回収などにより在庫もあるため、それを運用している状況です。

河川改修の実施場所は？



平野委員 河川の改修については、いろいろ要望がある中で毎年500万円の予算の中で実施していくと説明がありました。今後の調査を含め、平成28年度の実施箇所を説明願います。

回答 春先の融雪に伴い一部決壊する箇所の修繕のほか、上町地区の排水路の補修、大平川の雑木の撤去を実施しています。今後の展開としては、台風や大雨によりある程度危険な箇所を把握していますが、雑木撤去に適した冬場に向けてエリアを選定し、実施していきたいと考えています。

無線LAN 範囲拡大の考えは？



駅前通り～みそぎ浜 間
無料でインターネット通信が出来ます

決算質疑
Pick up 4

吉田委員 木古内駅周辺公衆無線LANは、平成28年度事業により実施しましたが、今後範囲を拡大する意向はありますか。

回答 現在は、みそぎ浜駅前通りに無線LANを整備して主に外国人観光客に来ていただく体制を整えたところです。今後、訪問客が増え、経済効果に繋がっていき、他の観光スポットなどの必要性も出てきた場合には、費用対効果も含め検討していきます。

「いさりび鉄道」通学 助成金予算執行は？



決算質疑
Pick up 5

鈴木副委員長 予算額228万円に対し120万円の執行となっています。説明では38名が対象者とのことですですが、全員が申請されていますか。また、対象者をどのように管理されていて、申請の把握や周知などをしていますか。

回答 予算計上は卒業生51名を対象に作成しています。減額の要因としては、途中下車や下宿されるかたなどが考えられます。また、周知については、毎年3月に学校を通じての通知文の配付と年4回町政広報による周知を行ってありますので申請漏れはない認識しています。

決算審査を終えて

決算審査特別委員会
委員長 新井田 昭男



住民の皆様には、平素より議会運営に対し各段のご理解をいただき、厚くお礼を申し上げます。去る、9月18日に台風18号が渡島半島近海を横断し北海道各地に大きな爪痕を残しました。我が町も避難準備情報発令や木古内川付近地区に避難勧告などの措置がなされました。幸い人的災害がなかったことに安堵しているところです。被害状況に関しては行政担当が確認中ですが、被害に遭われたかたには早期の復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、平成29年度第3回木古内町議会定例会において、平成28年度決算審査特別委員会は、議長、監査委員を除く8名の委員構成の中、一般会計他8件について慎重な審査の結果、当委員会としていずれも認定すべきと決定致しました。審査所見でも報告しておりますが、病院事業会計以外の一般会計他7事業会計に関しては全て黒字決算となり、特に町税に関しては、昨年度同様過去5年間で一番高い収納率となったことは評価に値するものであり、税務課担当職員が一丸となって任務遂行に尽力された結果であると確信しております。

この度の決算審査特別委員会においては、各委員より様々な視点から審査されましたが、各担当課としては審査の中で議論された事を糧とし、更なる事業成果と大いなる木古内町発展に向け、総力を傾け邁進することを強く期待するものである。

定
例
会
一
般
質
問
決算審査特別委員会

常
任
委
員
会
お
知
ら
せ

総務・経済 常任委員会 レポート

人口減少対策「KPI」

目標値に向け 努力を求める

所管事務調査報告

人口減少対策の 進捗は

木古内町まち・ひと・

しごと創生総合戦略策

定推進委員会が開催され、協議内容について報告がされた。重要業績評価指標（KPI）（※1）の現状数値が示され、多数の項目で厳しい進捗率が数値化されている。現在の進捗状況では、平成31年度に

向けて設定されている目標値には到底及ばず、今後3年間で目標値に到達する為には相当な努力が必要であると推測される。

幾度となく議論され、協議内容について報告がされた。重要業績評価指標（KPI）（※1）の現状数値が示されている、人口減少対策における我が町独自の施策取り組みを強化するのはもちろん、各事業で効果が現れる具体的な施策の早期展開を求める。

「いさりび」「恵心園」との経営統合に援助 施策を

介護老人保健施設「いさりび」と特別養護老人ホーム「恵心園」との経営統合（合併）協議について、引き続



瓜谷地区の町有林の現況・植栽現場の確認（第4回総務・経済常任委員会の現地調査）

9月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

総務・経済常任委員会を6月定例会以降、2回にわたり開催し、9月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

調査した事務調査

第3回 7月20日開催
○総務課・建設水道課
・工事契約について
(現地調査含む)
○まちづくり新幹線課
・観光事業（観光交流センター・広域）の現況について
○産業経済課
・観光事業（町内）の現況について

第4回 8月31日開催
○まちづくり新幹線課
・人口減少対策について
○保健福祉課・病院事業
・老人保健施設「いさりび」と特別養護老人ホーム「恵心園」との経営統合について（継続）
○産業経済課
・町有林の現況について
(現地調査含む)
○市民課
・保育料の軽減について

質疑要旨

道の駅の広場整備

安全対策は

新井田委員

広場周辺

のフェンスが不十分な箇所も見受けられました。オープン前に再確認をお願いします。

構口建設水道課長

再

度確認し、総合的な安全を考慮し、フェンスの増設も含め検討します。



オープンから多くの来館者が訪れたみそぎガーデン（写真右）

鈴木委員 道の駅や町内の看板などが多言語で表記され、徐々に成果として現れていると感じていますが、外国人のかたが商店や飲食店等も含め町内を周遊できる環境づくりも必要と考えています。現状の考えを伺います。

えています。
対応していきたいと考
えていきます。

インバウンド（※2） 対策を町内全体に

木村産業経済課長 各

木村産業経済課長 各事業所には、多言語ツールを作成し配付しています。外国のかたが指で示すことにより、一定のコミュニケーションが可能となるものです。また、道の駅案内所には、地域おこし協力隊制度を活用し多言語通訳者を任用しています。今後も関係課と連携を図りながら、対応していきたいと考



改修された薬師山散策路（写真右）

木村産業経済課長 以前にも計画をしましたが、急傾斜のため道路を整備すると山 자체が削られてしまうため、中止になつた経過があります。また、今年度には、展望台を新設し、沿路も改修しますので、多少登りやすくなることが予想されます。今後も可能な改良範囲で対応を考えています。

いと考
えています。

薬師山芝桜をより魅力的に

手塚委員

薬師山の芝

桜の観光客は、開花不足もあるかもしませんが前年度から半減しています。徒步での登頂は大変ですので、車両通行整備などの考えはありませんか。



新設した薬師山の展望台（写真右） 芝桜の満開が期待される

空き家リフォーム 制度を充実しては

竹田委員

空き家リフ

ーム助成事業は、移住定住の有効策であると考えています。もつと制度を充実させ、屋根や排水を整備するなど、もっと移住者に負担の少ないものにできませんか。

福田まちづくり新幹線課長

空き家リフオ

ム助成事業については、町の財政事情も踏まえ上限100万円、町内事業者を利用してこと

を条件として今年度より制度化しました。移住されるかたも空き家の場所や価格など、自

身の思いがありますので、当面はこの制度をPRし、移住されるかたに活用していただき、

移住者の増加に繋げたいと考
えています。

（※2）インバウンド…外国の旅行客が日本を訪れるこ

お知らせ

NEWS & INFORMATION

「森林環境税」の創設に関する意見書など 6件を関係大臣等へ提出

9月定例会では、意見書案6件を原案のとおり可決され、内閣総理大臣のほか関係大臣等に提出しました。

林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を図るために関係大臣等へ意見書を提出しました。(提出者 佐藤 悟 議員)

「全国森林環境税」の創設に関する意見書

森林吸収源対策に係る財源が不足しているため、それらの財源確保のために「全国森林環境税」の早期創設を求め関係大臣等へ意見書を提出しました。
(提出者 新井田昭男 議員)

適正な地方財政計画の策定を求める意見書

地方自治体の基金残高を、国が示す地方財政計画に反映させないために関係大臣等へ意見書を提出しました。(提出者 平野 武志 議員)

道教委「新たな高校教育に関する指針」を抜本的に見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書

地域の意見等を踏まえ「新たな高校教育に関する指針」の見直しを求めて、道教委等へ意見書を提出しました。(提出者 竹田 努 議員)

「国の責任による35人以下学級の前進」を求める意見書

35人以下学級と教職員定数の改善を求め関係大臣等へ意見書を提出しました。
(提出者 相澤 巧 議員)

国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の制度の確立を求める意見書

「高校無償化」の復活、給付制奨学金制度の確立を求め関係大臣等へ意見書を提出しました。(提出者 手塚 昌宏 議員)

※意見書とは？

国会や関係行政機関へ提出するもので、法的な拘束力をもなたいが、住民の代表である議会の総意として尊重されます。



木古内町森林・林業・林産業活性化議員連盟 泉沢地区にさくらを植栽 今後も町内各地に展開予定



10月6日に木古内町森林・林業・林産業活性化議員連盟による「さくら植栽事業」を実施しました。この事業は、今年度より始まったもので、各町内会にさくら等の記念樹を植栽し、緑化美化活動に寄与するものです。

限られた財源での植栽ですが、さくらの植栽など希望地がある町内会がありましたら議会事務局までお知らせください。

主旨説明する吉田裕幸林活会長（写真左下）吉田 進泉沢自治会長（写真右上）

町民インタビュー

No.5



～ 老若男女 木古内町民のインタビューを発信します～

ひろせ まさゆき
廣瀬 将之さん (28歳)

木古内町生まれ、木古内地区在住。株式会社リス
クアイ道南支店副支店長、木古内・知内ライオンズ
クラブ若獅子会々員、木古内商工会青年部理事。
「意識は行動をつくり 行動は習慣をつくる 習
慣は人格をつくり 人格は運命をつくる」中学校ま
では木古内、高校から函館、札幌で学生時代を過ご
し、夢を追い東京へ。いろいろ経験をし将来を摸索
する中「木古内へ戻りたい」思いが強くなっていた
ところ、父の一声もあり、木古内へUターン、2年
間の研修期間を経て、父の会社に入社。ボランティ
ア活動をはじめ地域貢献に力を注いでいる中、運命
的な出逢いがあり、現在1歳のかわいい娘を持つイ
クメンパパです。



— 仕事内容について、お伺いしてもよろしいですか？

「企業の発展や安定経営」と「ご家族の安心できる生活や豊かな暮らし」のために、それを取り巻くさまざまなリスクを予測・分析し最も効果的な事前準備と対処方法をご提案するリスクコンサルティングサービスを通じ、社会に貢献し地域、お客様と共に発展する企業活動をしています。

— 木古内町に戻り、町の印象はどう感じましたか？

木古内町はほかの町に比べ唯一車がなくても“出かける事ができる町”だと思っています。町には、バス、タクシー、道南いさりび鉄道、北海道新幹線等たくさんの交通手段あり、誰でも“行ける町、来る事ができる町”ではないかと思います。

— 議会に対して意見や要望はありますか？

木古内町は交通手段は整っているので、あとは“行きたい、住みたい、帰りたい、戻りたい”と思う環境づくりと受入体制が必要だと思います。議会には、より魅力ある町づくりのために、町民の声や想いを届けてくれることを今後も期待しています。

(インタビュアー：相澤委員)

議会だより編集特別委員会
副委員長 相澤巧

編集後記